

JICA 中部訪問

6月7日（金）JICA 中部を訪問し、施設を見学し、青年海外協力隊に参加した方のお話を伺いました。ウガンダ給食も体験しました。





生徒の感想から

私は今回 JICA 中部なごや地球ひろばを訪問して、たくさんの情報を得ることができました。特に青年海外協力隊に参加した人の体験談では、途上国の地域格差がよくわかりました。青年海外協力隊の主な活動は、幾地域によって異なりますが、話を聞いたウガンダでは、料理をするときにキッチン内で充満してしまう煙を外に排出する改良かまどの制作や、ティピータップというポリタンクを使った手作りの手洗い器の設置、井戸の正しい使い方や。手洗いの方法を教えるワークショップなど地域に密着した活動が多く、それに参加することで行った地域にとっても役に立っているという点で、そのような地域の人々にとっても役に立っている大切な団体であるということがわかりました。

初めて食べたウガンダ給食はとてもおいしかったです。「白いんげん豆のトマト煮」ご飯「ポシヨ」に飲み物という日本の給食と比べると少し質素だなと思いました。しかし日本の給食と違ってとても腹持ちがよく、夜もご飯いらずでした。特に「ポシヨ」という料理は少しだけでおなか一杯になりました。また、日本のトマト煮よりは味が少し薄いように感じました。日本とウガンダの給食でさえ違いがあるのに、約 200 か国という数ではどうなのでしょう？私には想像もできません。